



LETTERS

2014 年 12 月発行

公益財団法人
佐倉国際交流基金

〒285-0025
佐倉市鎗木町 198 番地 2
TEL・FAX 043-484-6326

佐倉国際交流のつどい

～ 手をつなぐ 心をつなぐ 世界の輪 ～
ジェンカと一緒に



紙飛行機飛ばし



盆踊りの和太鼓



日本語講座受講者
お国の料理紹介



ハロウィーンタイム



日本語講座受講者のお国紹介

今年のつどいは大勢のお客様にご来場いただき、例年にも増して賑わいました。文大、イングリッシュサロンの皆さんも多数ご来場いただき感謝しています。

交流のつどいは、毎年、SIEF の他の活動の皆さんとの連携と、主催者も来場者も全員がイベントを楽しむ「参加型」の企画を目指しています。その意味で今年の企画の目玉の一つは、佐倉国際交流基金の活動の一つである「日本語講座」に参加している外国人による民族衣装の紹介、ジェンカ、中国の代表曲の合唱、郷土料理の販売などでしたが、どれも熱演で好評でした。

また参加型としては、最初のフラダンスから始まり、ジェンカ、ハロウィーン、紙飛行機飛ばし、けん玉、和太鼓叩き、盆踊りなど大人も子供も参加して楽しめるイベントを企画しましたが、これらも多く参加をいただき好評でした。この参加型は出店のお茶、書道などでも実施していただいています。年々自分でお点前や書道をやってみたいという来場者が増えており、今後一層発展させる計画です。来年の企画立案はまだ始まっていませんが、今年以上に SIEF の他の活動との連携を充実させる予定です。

(運営委員長 笹沼 和男)

詳しくは、SIEF HP (<http://www.sief.jp>) をご覧ください。

佐倉国際スピーチコンテスト



中学生の部



中学生スピーチの部市長賞



中学生の部入賞者



小学生の部



中学生レシテーションの部市長賞



外国人の部

9月28日(日) ミレニアムセンター佐倉において、佐倉市共催、佐倉市教育委員会後援、佐倉ライオンズクラブ、佐倉ロータリークラブ、DIC 川村記念美術館の協賛をいただきコンテストが開催されました。本年は、中学生 30 名、外国人の部 5 名、小学生 73 名が参加、日頃培った英語の力・日本語の力を発揮されました。(以下 中学生の部入賞者の方々)

中学生「英語スピーチ」の部 (敬称略)

賞	氏名	学校
市長賞	川島 ゆい	成田高校附属中学校
佐倉ライオンズクラブ賞	五十嵐 健介	上志津中学校
佐倉ロータリークラブ賞	近藤 さほ	富里中学校
DIC 川村記念美術館賞	小島 千奈	富里中学校

タイトル
SPEC-A Light in the Darkness
The Other Side of the World Cup
Happiness
OMG !

中学生「英語レシテーション」の部 (敬称略)

賞	氏名	学校
市長賞	鈴木 梨央	臼井西中学校
佐倉ライオンズクラブ賞	難波 真由 (ペア)	根郷中学校
	藤巻 海颯 (ペア)	根郷中学校
佐倉ロータリークラブ賞	青野 晶子	臼井南中学校
DIC 川村記念美術館賞	野田 洸太	富里中学校

タイトル
Education is the most powerful weapon
Picking the leader
同上
Presentation for Tokyo Olympic 2020 (extract)
LIFE

ご 案 内

◇DIC 川村記念美術館

五木田 智央 TOMOO GOKITA THE GREAT CIRCUS

会期 2014年8月31日(日)～12月24日(水)

*最新情報は、HP 等でご覧下さい。

◇国立歴史民俗博物館

文字がつなぐ ―古代の日本列島と朝鮮半島―

会期 2014年10月15日(水)～12月14日(日)

*最新情報は、HP 等でご覧下さい。

日本語講座学習者のご紹介



ペルー民俗舞踊（姉妹で）
知念さん・・・右側

・日本に来て思ったこと

日本にくる前、おじいちゃん、おばあちゃんたちからよく日本のことを聞いていたので、どんな国かそうぞうできました。いちばんおどろいたのは、なつのあつきです。日本のいいところは、じかんげんしゅなこと。日本人はきちんとして、ならぶじゅんばんをまもるところ。だいたい人は、どりよくか、しんせつな人が多い。日本は、安全なところですよ。

・日本語講座に参加して

少しかんじとたんごをまなび、
日本語のうりよくしけんレベル

4をうけ、もっと日本語がじょうずになりたいと思いました。いろいろな国の人たちとコミュニケーションができてよかったです。社会見学では、日本のれきしやぶんかをみれてよかったです。ホームヘルパーの勉強をしたいと思ったのも、さくらこくさいこうりゅうきさんのボランティアをしているのも、このクラスで日本語をまなんだからです。（知念はるみ）

知念はるみさん

1958年7月生まれ

ペルー出身

1990年8月来日

4人家族（佐倉市在住）

佐倉高校との国際理解交流会

昨年に引き続き、11月1日に、外国人と高校生の交流会を佐倉高校で開催いたしました。あいにくの雨でしたが、6か国12名の外国人に、3名の海外在住経験のある日本人も加わり、12名の高校生と、楽しく和やかな交流ができました。

・お互いがお互いを理解しようと努力しているから、とても楽しい時間になったし、時間がすぐ過ぎてしまった。今日一日で、いろいろな国の人と会い、一緒に話してみても国や、言語、文化が違うだけで同じ人間だと実感した。

・有意義な会だった。違和感を覚えたのは、日本人の友達を持っている人が予想以上に少ないということ。2020年に向けて、日本の地方行政は、まだまだ外国人への配慮が欠落している。将来の進路を考える良い機会になった。

・初めて外国人の方と関わって、日本に来た理由、年数、海外での行動がそれぞれで、たくさんを知ることができた。

・日本語・英語でコミュニケーションをして、言語がそんなにうまく話せなくてもアイコンタクトやジェスチャーでも充分伝わると感じた。（佐倉高校参加生徒アンケートより）



佐倉高校の皆さんと一緒に

参加された生徒さんから「海外の人々との交流を通じて様々なことを実体験し、吸収したい」との強い意欲を感じ、拙いながら私自身の訪問国への知識不足（治安や禁止事項、習慣等）による恐い体験や、海外は日本と様々な点で異なることなどお話をきいて、とても有意義な交流会でした。

これから海外に出かける学生の皆さんには、1) 安心・安全な旅にする責任は自分自身にあること、2) 日本人は英会話での正しい文法を気にするあまり、会話に積極的に参加しないとよく言われます。でもネイティブの方でも常に文法通り話すわけではありません。臆せず eye contact も大切にして積極的に会話し、海外の方々と楽しく交流を築いて頂ければと思います。

又、このような機会があれば参加したいと思う交流会でした。（日本語ボランティア 寺嶋康美）

私たちは、海外で仕事をしたり、滞在した経験から文化や生活習慣の違いを話し合いました。海外で仕事をされた方のお話は、各国の特徴についても教えて頂き、興味深くお聞きし、この交流会の次週にオランダに行かれる生徒さんは、未知の国への期待に胸を膨らませていました。佐倉市在住の海外から来た青年は、若者同士の国際交流になり、賑やかに盛り上がりました。年の差も国の違いも越え、高校生が外国を身近にとらえた一日でした。佐倉高校の庭の樹々も美しく、ジェーンさんが「ビューティフル！」と感激されていました。（日本語ボランティア 松永寛子）

賛 助 会 員

1. DIC 川村記念美術館入館料の割引 (団体料金)
2. 市民音楽ホール主催のコンサートチケット割引 (10%)
3. 国立歴史民俗博物館入場料の割引 (団体料金)

団体・法人会員・・・1口	10,000 円	外国人会員・・・・・・1口	1,000 円
個人会員・・・・・・1口	2,000 円	学生会員（22歳未満）・・・1口	1,000 円

贊助會員紹介

公益財団法人 日産厚生会 佐倉厚生園病院

電話 : 043-484-2161 F A X : 043-484-1825 <http://www.sakurakouseien.jp>

インフォメーション

志津コミュニティセンター	毎木曜日（午前・午後 3 クラス）
佐倉中央公民館	毎日曜日（午前 2 クラス）
ミレニアムセンター佐倉	毎金曜日（夜間 1 クラス）
レインボープラザ佐倉	隔週土曜日（午前 1 クラス）・毎日曜日（午前 2 クラス）

毎火曜日 スペイン語対応
毎木曜日 英語対応
毎金曜日 中国語対応

時間： 10:00～16:00
場所： 基金事務局内

※詳しくは、SIEF HP(<http://www.sief.jp>)をご覧ください。

HP: <http://www.sief.jp> Email: info@sief.jp